ラ　フォレ　セ　ラ　ヴィ　―森こそ命―

La Forêt, C'est la Vie !

2008年の成績発表で1位になったバタンガ小学校。樹高3mにおよぶ苗木の成長ぶりもさることながら、日々の水遣りをはじめとする児童の熱心な取り組みが評価されました。

ブルキナファソの小学校に緑が増えています！

私が暮らすブルキナファソのバム県では、2007年より小学校を対象とした緑化支援が続けられています。子供たちへの環境教育の一環として行なわれているもので、「緑のサヘル」と「環境畜産保全青年協会」（現地NGO）、県教育局、環境局が協力し合い、実現に至りました。

各小学校における取り組みの様子を見ると、生徒たちがこの活動に対して本当に夢中になっていることがよく分かります。私が校長を務めるバンゴ小学校は、今年、2007年に続いて2度目の支援を受けました。希望した苗木は全て、生徒たちによって植林されました。その当日には、学校の植林予定地に保護者や教師など、とても多くの人が集まり、子供たちの作業を手伝いました。また、夏休みなど、小学校が長い間休みになっている時にも、生徒たちが責任を持って苗木の維持管理を行なっています。

バム県の教育局や環境局、生徒の保護者、生徒たち等々、参加しているコミュニティーの全員が、3年目を迎えたこの取り組みを称賛しています。私たち参加メンバーは、現在の活動の成功はもちろん、バム県の全ての学校に「緑のサヘル」の輪が広がることを願いつつ、全力で活動にあたって行くつもりです。「緑のサヘル」や助成団体のプロジェクト担当者の方々、またこの小学校への緑化支援が成功するようにと願って下さる全ての支援者の方々に感謝致します。

バンゴ小学校校長／教育局職員　サワドゴ　ロミュエル